

タカラ産業製スペアタイヤキャリア(STC) 取扱説明書

STCへのタイヤ脱着作業者へお渡してください

- この説明書には、本製品をご使用いただくために必要な事項と保証規定が記載されています。必ずご使用前にお読みいただき製品廃棄時まで大切に保管してください。
- 第三者に譲渡される場合は、本書を添付してください。
- 当製品に関するお問い合わせ先は、巻末に記してあります。

本製品(スペアタイヤキャリア、STC)は、トラックやバスのスペアタイヤを車体下で保持する装置です。ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、理解した上で正しく安全にご使用ください。また、製品廃棄時まで大切に保管し、必要なときにいつでも読めるようにしておいてください。

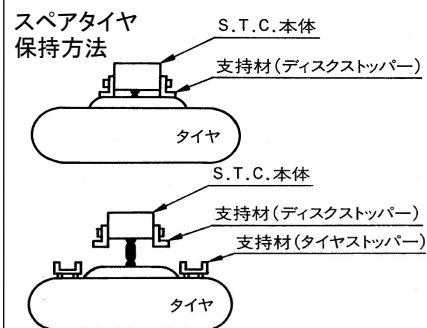
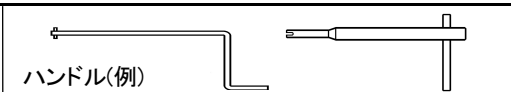
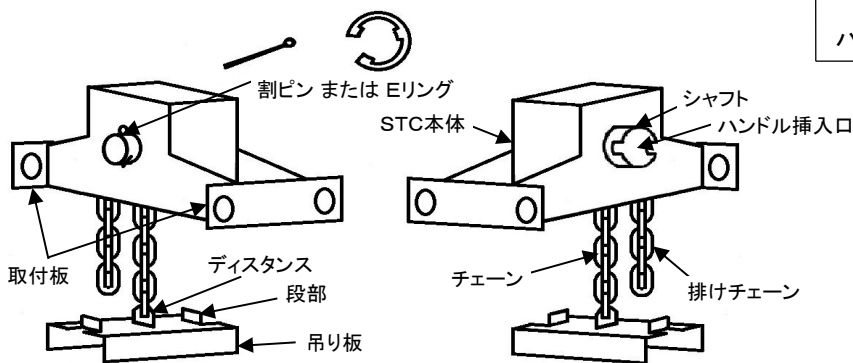


<代表機種>

	型式	タイヤ ハブ径	最大 タイヤ 質量	ハンドル 挿入口 形状
PL	PL-4900	φ221	150kg	U溝型
	PL-4900M	φ221	150kg	ジャッキハンドル型
	PL-4920	φ281	150kg	U溝型
PLB	PLB-4900	φ221	150kg	U溝型
	PLB-4900M	φ221	150kg	ジャッキハンドル型
	PLB-4920	φ281	150kg	U溝型
PM	PM-400	φ164	65kg	U溝型
	PM-400M	φ164	65kg	ジャッキハンドル型
PS	PS-24	φ149	50kg	U溝型

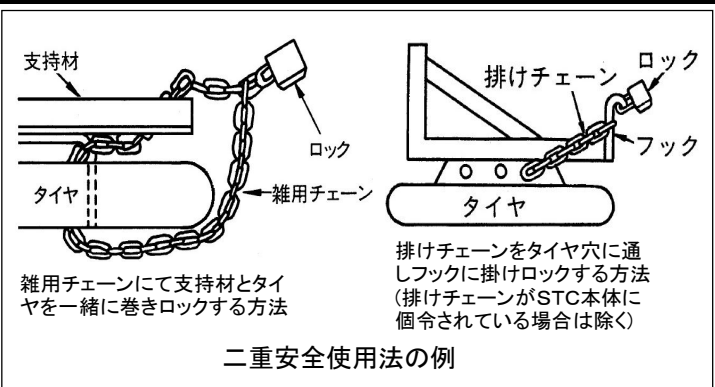
各部の名称

※機種により形状、排けチェーン処理方法は異なります



⚠ 警告: 重大事故の原因となります。

- 本書記載以外の使用はしないでください。
- タイヤ交換は必ず、周囲や足元の安全を確認し、水平な場所でブレーキをかけて行ってください。
- 二重安全使用法を実施し、確実にタイヤ脱落防止策を講じてください。
- STCまたは周辺部品に損傷、不具合、異常などを感じた場合は、絶対にそのまま走行せず、必ず適切な点検、交換、修理をしてください。
- STCに取り付けてあるタイヤをぶついたり、または車両事故や悪路走行などによってSTC、取り付けブラケット、支持材などが衝撃を受けた場合は、異常を感じなくても継続使用せず直ちに交換してください(安全性が保てないことがあります)。
- お客様によるSTCの修理分解改造は絶対にしないでください。
- ハンドルをSTCへ挿入したまま走行しないでください。
- 走行前や走行中に異常な音や振動を感じた場合は、必ず点検を行い、不具合を直してから走行してください。



⚠ 注意: ケガや故障などの原因となります。

- ハンドルを用いて、手で巻き上げまたは巻き下げしてください。インパクトレンチなど振動または高速回転する工具の使用は故障の原因になります。
- 巻き上げ/下げ時は、チェーンのねじれや絡みを取り除いてください。
- STCにタイヤを取り付けずに走行する場合は、ハンドルで吊り板をしっかり巻き上げた状態にしてください。
- 泥や融雪剤等が付着した場合は、水洗いして汚れを落としてください。固着しSTCが操作不能になることがあります。

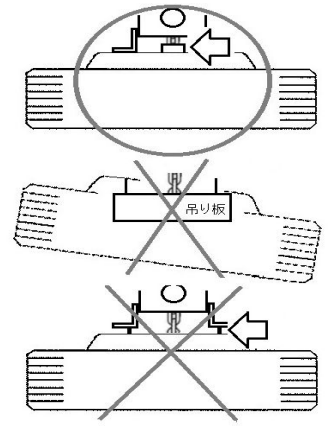
ご使用方法

1. 走行前、車両事故や悪路走行後に、点検を行います。

>> 点検項目

- タイヤがSTCに緩みなく締め付けられている。
- タイヤのディスクホイール穴に対し吊り板が正しくはめられている。
- 吊り板段部が支持材と干渉せずしっかり巻き上げられている。
- STCやその関連部品の取り付けボルトやナット、溶接箇所^①に緩みや亀裂等がない。
- STC(特に、吊り板の段部及び取付板)やその関連部品の外観に変形、亀裂、破損がない。
- STCの部品(特に、シャフト抜け防止用の割ピンまたはEリング)の欠落がない。
- 二重安全使用法が実施されている。

異常を発見した場合は、充分注意しながらタイヤを外またはタイヤが脱落しないようチェーン等でとめ、直ちにお買い上げのディーラーにご相談ください。



2. タイヤをSTCから取り外します。

1. 二重安全使用法により取り付けられているチェーンをタイヤから外します。
2. ハンドルをシャフトのハンドル挿入口に挿入し、ゆっくり左(一部の製品については右)に回し、タイヤが地面に着きチェーンが少し緩むくらいまで下ろします。

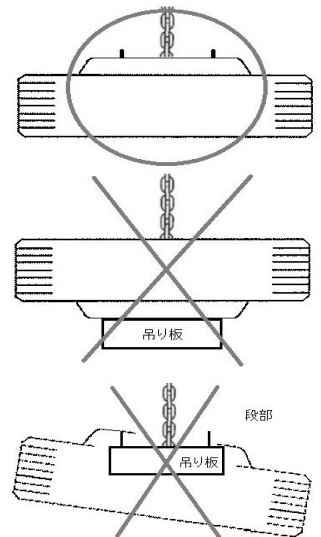
⚠ 注意: 巻き下げの際は、排けチェーン端がSTC本体から抜け落ちないように気を付けてください。排けチェーンが抜け落ちた場合は、(チェーンの方向があるので)ご自分で直さずお買い上げのディーラーにご相談ください。

3. 吊り板をタイヤのディスクホイール穴から抜きます。

3. タイヤをSTCに取り付けます。

1. STCへ取り付けるタイヤをSTCの真下に置きます。
2. 吊り板をタイヤのディスクホイール穴に通します。
3. ディスクホイール穴に吊り板の段部を両方とも正しくはめ、段部が外れないよう手で保持したままチェーンの緩みがなくなるまでシャフトを右(一部の製品については左)に回します。
4. ハンドルをシャフトに挿入します。
5. チェーンにねじれや絡みがないこと、ディスクホイール穴に吊り板の段部が両方とも正しくはめられていることを確認しながら、ハンドルを右(一部の製品については左)に回し巻き上げます。
6. タイヤが支持材まで巻き上がると、吊り板の中のバネがききはじめハンドルの回転が少し重くなりますが、そのままバネが密着し回らなくなるまで締め付けます。
7. ハンドルをシャフトから抜きます。
8. 取り付けしたタイヤを足や手で押して緩みがないか確認します。緩みがある場合は、ハンドルを再度挿入し増し締めします。
9. 二重安全使用法を実施します。

⚠ 警告: 足でタイヤを押す時は、固定物につかまり、足を滑らさないように注意してください。



STC交換の目安

以下の項目に該当する場合はSTCを交換してください。

- STCに取り付けてあるタイヤをぶつけた場合(STCに異常が見受けられなくても、必ず交換してください)。
- トラックが段差からの落下するなど、STCに異常な振動が掛かった場合。
- チェーンやディスタンスに磨耗やキズがある場合。
- 増し締めしても短時間で緩みやすくなった場合。
- グリス切れ等で操作が重くなったり異音がある場合。

STCや関連部品を廃棄する時は自治体の指示に従ってください。

保証規定

当該製品お買い上げ後1年(別途契約がある場合は、その契約に示す期間)以内に不具合があった場合、無償交換いたします。但し、次の場合には保証期間内においても有償交換となります。

- (1)本書記載以外の使用や禁止行為、STCに取り付けてあるタイヤの衝突、車両事故、悪路走行などに起因するもの。
- (2)本書提示がない場合。
- (3)日本国外での使用。
- (4)第三者に譲渡した場合。

仕様

- タイヤハブ径、重量: 表紙記載『代表機種』参照
- ハンドルにかける力(巻き上げ締め付け時): 294~490N (30~50kgf)
- 耐久回数: 正常な使用状態で200回の巻き上げ下げを想定
- 材質: 鉄
- 日本製

タカラ産業株式会社

〒416-0946 静岡県富士市五貫島1318

TEL: 0545-61-5500

FAX: 0545-61-7359

URL: <http://www.takara-co.com/>

E-MAIL: info@takara-co.com